



< 探究活動を実践し、記録する >

9/3 (4 歳児)

みんなが楽しみにしていたゴッホの「ひまわり」の模写に取り組みました。

今回は、アート作品をパーツ化した上で、パーツごとに仕上げていくという方法で描いていきます。全体を捉えて描いていくということは、模写とはいえとても難しいのですが、部分ごとに集中して制作していくと、個々の違いがありながらも少しずつ作品が完成していきます。

ぬりえは、枠の中をただ塗りつぶすものですが、今回はひまわりの構造や花びらはどのように生えていくかなど伝えながら進めていきました。

4 歳児クラスの子たちも、最初は広い部分を斜めに手を動かしながら塗りつぶす子が多かったのですが、ひまわりの花びらは花の中から外に向かって伸びていることを伝えると、しっかりと内から外に塗っていく子たちも増えて、しっかりと花びらのようになってきました。

種を想像しながらたくさん点々を打つ姿も思わず微笑んでしまいました。





< 探究活動を実践し、記録する >

9/3 (5 歳児)

花瓶の色塗りをしている時は、それほど迷いがなかったのですが、花の制作に入って、「ひまわりはたくさん種が入っているからたくさん転々を打って種の部分を表現してください」と伝えたときに、5歳児さんの方が慎重に点々をしている子が多いという印象でした。元の絵を見ながら点々を打つ子、自分のイメージで点々を打つ子、一つ一つしっかりと点々を打つ子などいろいろな子どもたちの性格を垣間見ることができて面白かったです。また、花の塗り方も同じようにひまわりの構造の話をしていくと、しっかり方向を意識しながら描いていく子も多かったように思います。5歳児さんのパーツは見本に重ねて見たときに、しっかりと馴染んでいて、途中段階でも素敵な作品が完成しそうな予感がしています。





<探究活動を実践し、記録する>

9/10 (4歳児)

本日は最後の花の部分を色付けして仕上げとなりました。斜めに色を塗るくせがついている子どもたちも、ひまわりの種は点々、花びらは中から外にということを前回伝えていたことを覚えていて、言われなくてもそのように塗る子、再度伝えたらすぐに塗り方を変える子など、素直に先生の話を聞いて取り組んでいました。それぞれの個性もありながら、とても素敵な作品が完成しました。気持ちに乗ってなさそうな子ども最後の完成した作品をじゃーんと見せたときはニヤッとして、とても良い表情になっていました。

K-ART <9月 ゴッホ「ひまわり」> 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園



<探究活動を実践し、記録する>

9/10 (5歳児)

完成させていくプロセスの中で、たびたび下絵の上に重ねてみると、だんだんと良い作品ができそうなイメージができていったようで、自身も出てきたのかどんどん明るくなって、最後完成をした時にはとっても素敵な笑顔になっていました。作品が完成した時に子どもたちが見せる笑顔は本当に素晴らしいです。